

◀ 2015年 九州大学(前期) ▶

♠ 理系学部

1 C_1, C_2 をそれぞれ次式で与えられる放物線の一部とする.

$$C_1: y = -x^2 + 2x, \quad 0 \leq x \leq 2$$

$$C_2: y = -x^2 - 2x, \quad -2 \leq x \leq 0$$

また, a を実数とし, 直線 $y = a(x+4)$ を l とする.

(1) 直線 l と C_1 が異なる 2 つの共有点をもつための a の値の範囲を求めよ.

以下, a が (1) の条件を満たすとする. このとき, l と C_1 で囲まれた領域の面積を S_1 , x 軸と C_2 で囲まれた領域で l の下側にある部分の面積を S_2 とする.

(2) S_1 を a を用いて表せ.

(3) $S_1 = S_2$ を満たす実数 a が $0 < a < \frac{1}{5}$ の範囲に存在することを示せ.

2 以下の問いに答えよ.

(1) 関数 $y = \frac{1}{x(\log x)^2}$ は $x > 1$ において単調に減少することを示せ.

(2) 不定積分 $\int \frac{1}{x(\log x)^2} dx$ を求めよ.

(3) n を 3 以上の整数とするととき, 不等式

$$\sum_{k=3}^n \frac{1}{k(\log k)^2} < \frac{1}{\log 2}$$

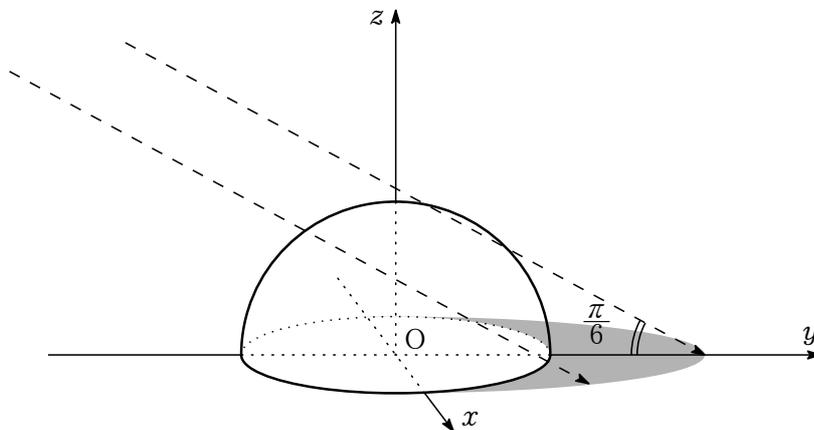
が成り立つことを示せ.

3 座標空間内に, 原点 $O(0, 0, 0)$ を中心とする半径 1 の球がある. 下の概略図のように, y 軸の負の方向から仰角 $\frac{\pi}{6}$ で太陽光線が当たっている. この太陽光線はベクトル $(0, \sqrt{3}, -1)$ に平行である. 球は光を通さないものとするとき, 以下の問いに答えよ.

(1) 球の $z \geq 0$ の部分が xy 平面上につくる影を考える. k を $-1 < k < 1$ を満たす実数とするととき, xy 平面上的直線 $x = k$ において, 球の外で光が当たらない部分の y 座標の範囲を k を用いて表せ.

(2) xy 平面上において, 球の外で光が当たらない部分の面積を求めよ.

(3) $z \geq 0$ において, 球の外で光が当たらない部分の体積を求めよ.



4 袋の中に最初に赤玉 2 個と青玉 1 個が入っている．次の操作を繰り返し行う．

(操作) 袋から 1 個の玉を取り出し, それが赤玉ならば代わりに青玉 1 個を袋に入れ, 青玉ならば代わりに赤玉 1 個を袋に入れる．袋に入っている 3 個の玉がすべて青玉になるとき, 硬貨を 1 枚もらう．

- (1) 2 回目の操作で硬貨をもらう確率を求めよ．
- (2) 奇数回目の操作で硬貨をもらうことはないことを示せ．
- (3) 8 回目の操作ではじめて硬貨をもらう確率を求めよ．
- (4) 8 回の操作でもらう硬貨の総数がちょうど 1 枚である確率を求めよ．

5 以下の問いに答えよ．

- (1) n が正の偶数のとき, $2^n - 1$ は 3 の倍数であることを示せ．
- (2) n を自然数とする． $2^n + 1$ と $2^n - 1$ は互いに素であることを示せ．
- (3) p, q を異なる素数とする． $2^{p-1} - 1 = pq^2$ を満たす p, q の組をすべて求めよ．

♠ 文系学部

1 座標平面上の 2 つの放物線

$$C_1: y = x^2$$

$$C_2: y = -x^2 + ax + b$$

を考える．ただし, a, b は実数とする．

- (1) C_1 と C_2 が異なる 2 点で交わるための a, b に関する条件を求めよ．
以下の a, b が (1) の条件を満たすとし, C_1 と C_2 で囲まれる部分の面積が 9 であるとする．
- (2) b を a を用いて表せ．
- (3) a がすべての実数値をとって変化するとき, 放物線 C_2 の頂点が描く軌跡を座標平面上に図示せよ．

2 1 辺の長さが 1 である正四面体 $OABC$ を考える．辺 OA の中点を P , 辺 OB を $2:1$ に内分する点を Q , 辺 OC を $1:3$ に内分する点を R とする．以下の問いに答えよ．

- (1) 線分 PQ の長さと言線分 PR の長さを求めよ．
- (2) \vec{PQ} と \vec{PR} の内積 $\vec{PQ} \cdot \vec{PR}$ を求めよ．
- (3) 三角形 PQR の面積を求めよ．

3 袋の中に最初に赤玉 2 個と青玉 1 個が入っている．次の操作を考える．

(操作) 袋から 1 個の玉を取り出し, それが赤玉ならば代わりに青玉 1 個を袋に入れ, 青玉ならば代わりに赤玉 1 個を袋に入れる．袋に入っている 3 個の玉がすべて青玉になるとき, 硬貨を 1 枚もらう．

この操作を 4 回繰り返す．もらう硬貨の総数が 1 枚である確率と, もらう硬貨の総数が 2 枚である確率をそれぞれ求めよ．

4 以下の問いに答えよ．

- (1) n が正の偶数のとき, $2^n - 1$ は 3 の倍数であることを示せ．
- (2) p を素数とし, k を 0 以上の整数とする． $2^{p-1} - 1 = p^k$ を満たす p, k の組をすべて求めよ．

出題範囲と難易度

♣ 理系学部

- 1 標準 II 微分積分
- 2 標準 III 積分法の応用
- 3 標準 III 積分法の応用
- 4 標準 A 確率
- 5 標準 A 整数の性質

♣ 文系学部

- 1 標準 II 図形と方程式・微分積分
- 2 基本 B ベクトル(空間)
- 3 基本 A 確率
- 4 標準 A 整数の性質

略解

◇ 理系学部

- 1** (1) $0 \leq a < 10 - 4\sqrt{6}$
 (2) $S_1 = \frac{1}{6} (\sqrt{a^2 - 20a + 4})^3$
 (3) 証明は省略
- 2** (1) 証明は省略
 (2) $\int \frac{1}{x(\log x)^2} dx = -\frac{1}{\log x} + C$ (C は積分定数)
 (3) 証明は省略
- 3** (1) $\sqrt{1 - k^2} \leq y \leq 2\sqrt{1 - k^2}$
 (2) $\frac{\pi}{2}$
 (3) $\frac{2\sqrt{3}}{3} - \frac{2}{9}\pi$
- 4** (1) $\frac{2}{9}$
 (2) 証明は省略
 (3) $\frac{686}{6561}$
 (4) $\frac{2450}{6561}$
- 5** (1) 証明は省略
 (2) 証明は省略
 (3) $(p, q) = (7, 3)$

◇ 文系学部

- 1** (1) $a^2 + 8b > 0$
 (2) $b = -\frac{1}{8}a^2 + \frac{9}{2}$
 (3) 放物線: $y = \frac{1}{2}x^2 + \frac{9}{2}$
 頂点の軌跡は、右図のようになる。
- 2** (1) $PQ = \frac{\sqrt{13}}{6}$, $PR = \frac{\sqrt{3}}{4}$
 (2) $\frac{5}{48}$
 (3) $\frac{\sqrt{131}}{96}$
- 3** もらう硬貨が 1 枚である確率: $\frac{26}{81}$
 もらう硬貨が 2 枚である確率: $\frac{2}{27}$
- 4** (1) 証明は省略
 (2) $(p, k) = (2, 0), (3, 1)$

